

輝く未来を創る

蓮田情熱人

蓮田市（出身）で活躍する人物にスポットをあて、これからの活躍、考えるまちの未来について聞いてきました。挑戦し続ける情熱人から語られる言葉に、蓮田市の未来が見えてくるかもしれません。

情熱人 ポテンシャルを秘めた 蓮田市の魅力を世界に発信

株式会社サヴァン代表取締役CEO
いくたももこ
幾田桃子さん

父の他界を機に母のそばで過ごすため平成28年（2016年）から蓮田市に住んでいます。現在は、父との思い出の地に夫と2人でアトリエ兼住居づくりを進めています。私たちの会社では、人が考え、心の奥深くに影響を与えられる美しく知的なデザインをファッション、アート、建築で提供しています。この発想に沿った創造力をインスパイアしてくれる自然が蓮田市にはあり、デザインの創作も今までより早く進めることができます。交通のアクセスの良さも含め、蓮田市はさまざまなポテンシャルを秘めています。この魅力を今後はぜひ世界に発信していきたいですね。



癒やしと創造性を与えてくれる
手つかずの自然があります

情熱人 シャキッとおいしい蓮田市の名産 梨農家の三代目は作り手育成にも意欲

梨農家
よしざわかずのり
吉澤一徳さん

一町（約10,000㎡）の畑を管理し、幸水、豊水、彩玉、あきづきなどを作っています。私たちが作る梨の特長は1つ1kgにもなる大きさ。通常大玉にするには肥料を増やしたり実になってから摘果したりしますが、私たちの農園では4月の花が咲く前から徹底的に手を入れ、大きくする作り方をしています。妻と子どもたち家族みんなで梨を育てています。自分が梨に愛情を注げるのも、自然に囲まれた蓮田市で生まれ育ったからこそ。これからは、蓮田市が昔から梨の産地だったこともアピールし、盛り上げていきたいです。梨づくりの仲間も増やせたらいいと思います。人も梨も伸び伸び暮らせる蓮田市に、みんな集まれ！



毎日手を抜かずめんどろを見て、
味も大きさも自慢の梨に育てています



情熱人 うるし工房「うるし劇場」を構え 型にはまらない漆文化を発信

漆作家
かとうなみこ
加藤那美子さん

子どもが日常使いできる漆の器を作りたいという思いから作家活動を始めました。最高級の国産漆を使った作品は、モダンなデザインかつ、従来のつるつるとした表面をあえてマットに仕上げ、滑りにくくするなど、使いやすさを考えて作っています。特にデザインは縄文遺跡など蓮田市の文化や風景からヒントを得ることも。またライフワークの一環として、保育園で園児にやすりがけや絵付けなどを体験してもらった「箸づくり体験」の開催や、黒浜の休耕地に漆畑「縄文うるしパーク」を作るなど、市内内外のたくさんのかたに漆に興味をもってもらえるよう、蓮田市から全国へ漆文化を発信する活動を行っています。



使う人が心地よいと感じる
漆の作品を皆さんに届けていきたいです



情熱人 イベントで、SNSで、 蓮田市の魅力を発信するシンガー

アニソンシンガー
ゆりか
YURiKAさん

蓮田市には代々住んでいる人が多く、転入者も増えています。それこそが、住みやすさの証拠。都内でライブをしていた高校生の頃から、東京とのアクセスの良さは実感していましたし、地元では広々とした畑の中で思い切り歌の練習ができました。都会に近く、歌が好きな私を見守ってくれる田舎の良さもある、そんな「とかいなかNo.1」のまちです。私も蓮田市出身であることが誇りで、大好きな“はすびい”のグッズも集め、いつも蓮田市をアピールしています。いつかハストピア（総合文化会館）でライブを開催して、ふるさとに人を呼び込めるシンガーになれたらうれしいです。



安心する空気が広がっているまち
この蓮田市らしさがいつまでも続いてほしいな！

